

1 土地利用



上空からの日高町（海岸線）

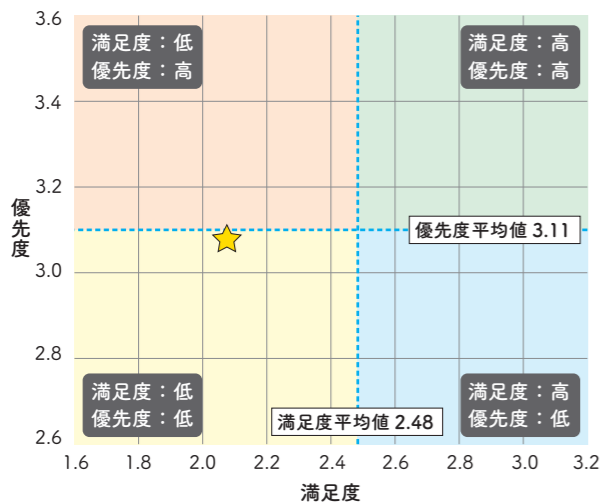
目指す方向

● 土地の利用や管理・保全が適切に行われるまち

指標

指標	単位	現状値	計画終了時
国土利用計画法による無届土地取引件数	件/年	0	0

満足度・優先度 ※住民意識調査（R7）より



土地利用

満足度：低	優先度：低
2.09	3.08

取組を進める視点

町民が暮らしやすいまちづくりのため、無秩序な土地利用を抑制しながら適正な利用に向けた周知啓発等に取り組めます。

施策の方向

(1) 計画的な土地利用の推進

● 計画的な土地利用を推進するため、農業振興地域整備計画等の見直しや総合調整を行い、土地利用の明確化を図ります。

(2) 適正な土地利用への誘導

- 土地利用関連計画や関連法等の周知と運用を図り、無秩序な開発行為や無届での土地の売買などの未然防止、土地利用区分に応じた適正な土地利用への誘導に努めます。
- 土地を適正かつ有効に利用するため、GIS*の更新及び有効活用を図ります。

* 地理情報システムのこと。コンピュータ上で様々な地理空間情報を重ね合わせて表示するためのシステム。



日高町管内地図

2 住宅、定住・移住



ワンストップパーソンによる移住相談

目指す方向

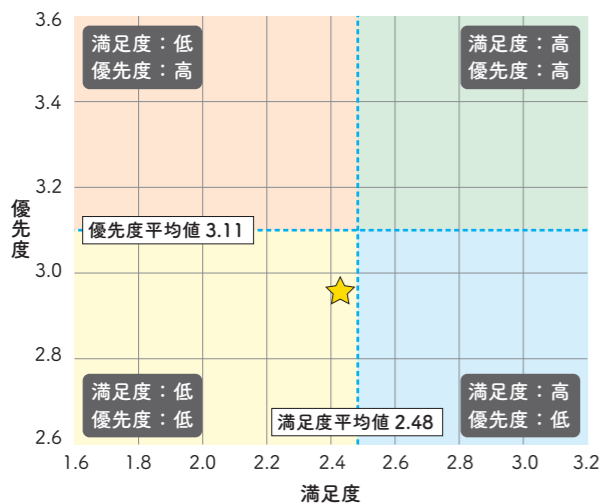
- 住環境が整い、快適な暮らしが実感できるまち

指標

指標	単位	現状値	計画終了時
耐震改修助成件数	件/年	4	5
空き家解体撤去費補助事業申請件数	件/年	10	10

満足度・優先度

※住民意識調査（R7）より



住宅、定住・移住

満足度: 低	優先度: 低
2.43	2.96

取組を進める視点

町民が安心して暮らせる住環境を確保するとともに、空き家対策を推進することで、住環境の向上に努めます。

施策の方向

(1) 住宅の耐震診断・耐震改修の促進

- 南海トラフ巨大地震等に備え、安全・安心な住宅・住環境の確保を図るため、既存木造住宅等の耐震診断と、診断に基づく耐震改修を支援します。

(2) 定住・移住につながる住環境の創出

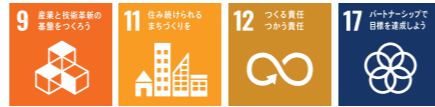
- 定住・移住希望者からの相談に効果的に対応できるよう、ワンストップパーソン*の活用等により、定住・移住相談体制の充実を図ります。
- 空き家解体撤去費補助制度の周知と活用により空き家を減少させていくとともに、利活用できる空き家については県の空き家バンクへの登録を促進します。

* 移住に関する情報を一元化して提供し、定住につなげる支援を行う職員。

主な関連計画

- 日高町住宅・建築物耐震改修促進計画
- 日高町空き家等対策計画

3 道路・公共交通



町道改良事業

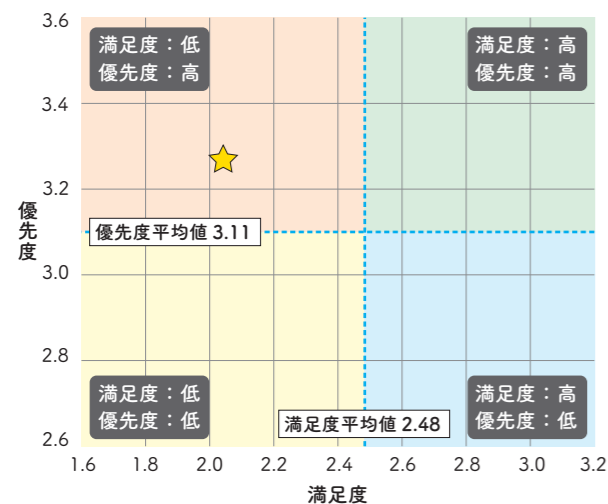
目指す方向

- 幹線道路の整備や鉄道等の維持により広域移動の利便性が保たれているまち
- 生活道路の整備や路線バス等が維持されることで移動がスムーズなまち

指標

指標	単位	現状値	計画終了時
町道（長堤天満・川原天満・平野線）の整備事業進捗率	%	0	50.0
橋梁修繕橋数	橋	0	3 ※ R8～R12 累計
公共交通に関する研修会等の開催回数	回 / 年	1	1

満足度・優先度 ※住民意識調査（R7）より



道路・公共交通

満足度：低	優先度：高
2.04	3.27

取組を進める視点

町民の日常生活の利便性や近隣市町へのアクセス向上のため、持続可能な鉄道・バス等の公共交通のあり方を検討するとともに、道路の維持・整備に努めます。

施策の方向

(1) 広域道路の整備促進

- 地域全体の発展に向け、関係自治体と協調し、近畿自動車道紀勢線の4車線化の早期完成と紀南延長を関係機関に働きかけます。
- 自動車通行の円滑化、安全性・快適性の向上に向け、国道42号及び県道の適切な維持管理と改良、歩車道の分離等を関係機関に要望します。

(2) 町道の整備

- 地域に密着した生活の基盤である町道について、地域の意向を踏まえつつ、拡幅や改良等を計画的に進めるとともに、危険箇所等の定期点検、道路パトロールの充実、効率的な維持管理に努めます。

(3) 橋梁の維持管理

- 橋梁については、5年に一度の定期点検を行い、予防的な修繕による長寿命化を図るとともに、計画的な架け替えを行います。

(4) 鉄道の利用促進

- JR紀勢本線について、利用者のニーズに応じた対応を図るとともに、老朽化した駅舎対策をJRと協議・検討します。

(5) 路線バスの維持

- 移動手段の確保を図るための公共交通に関する研修会等を実施し、路線バスの利用促進に努めるとともに維持・存続を関係機関に働きかけます。

主な関連計画

- 日高町公共施設等総合管理計画
- 日高町橋梁長寿命化修繕計画



公共交通ワークショップ

4 情報化・技術革新



職員セキュリティ研修

目指す方向

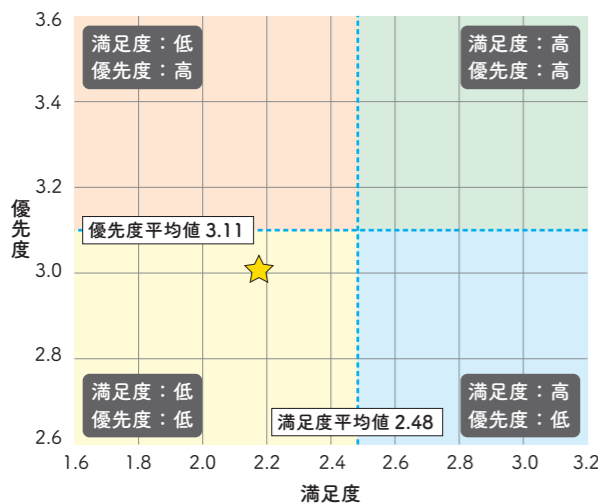
●時代に即した情報化や技術革新に取り組むことで、行政サービスの質が高まるまち

指標

指標	単位	現状値	計画終了時
町ホームページアクセス数	回/年	186,035	200,000
情報漏えい発生件数	件/年	0	0

満足度・優先度

※住民意識調査（R7）より



情報化・技術革新

満足度：低	優先度：低
2.18	3.01

取組を進める視点

本町の業務において、時代の流れに応じたシステムの利用や情報管理・情報発信を行うとともに、デジタル技術の導入・利活用についても検討を進めます。

施策の方向

(1) 行政内部の情報化の推進

●既存の各種システムの維持・充実に努めるとともに、時代に即した新たなシステムの導入を検討し、行政内部の情報化を推進します。

(2) 多様な媒体による情報発信

●ホームページや「ひだか防災・行政ナビ」アプリ*1、ケーブルテレビ等により、町民に対して地域や行政の情報を発信します。

(3) 安全な情報環境づくり

●研修による町職員の資質向上やセキュリティ体制の構築、監査の実行等により、情報セキュリティ対策の強化に努めます。

(4) 産業振興に向けた未来技術の利活用の検討

●関係機関・団体と連携し、産業分野におけるロボット、AI、IoT*2等の未来技術の利活用の可能性について検討を進めます。

* 1 防災情報や行政情報を配信するとともに、災害時の緊急情報がプッシュ通知で届くスマートフォンアプリ。
* 2 Internet of Thingsの略。あらゆる「モノ」がインターネットに接続され、情報をやり取りできる仕組み。

■ひだか防災・行政ナビについて

ひだか防災・行政ナビ

●POINT●

1. 防災無線の情報を文字でいつでも、どこでも確認ができる
※一部音声もつきます。
2. 広報紙やハザードマップなどが確認できます。
※くらしや防災に役立つ情報について、順次増やしていきます。
3. マップ機能で避難所等の位置や危険な場所が確認できます。
※アプリに反映するには時間がかかります。最新データかどうかはお問い合わせください。

STEP 01 右のQRコードを読み取るか、Google PlayやApp Storeで「ライブビジョン」と検索してください。

STEP 02

- 1 インストールボタンをタップし、ご自分のGoogleアカウントまたはAppleのIDとパスワードを入力してください。
- 2 インストール完了後、スマートフォンのホーム画面にこのアイコンが表示されます。
- 3 ホーム画面に表示されているアイコンをタップします。

STEP 03

「地域を選択してログイン」を選択

町内在住の方は郵便番号7桁を、町外在住の方は「6491200」を入力し検索

地域を確認「次へ」を選択

利用規約を確認し「同意する」を選択

以上で設定は完了です。最初の画面が表示されます。